

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0378

(注)本稿は 2016 年 5 月 18 日から 25 日まで 6 回に分けて「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2016.6.9

前田 高行

油価急落で中東からの輸入額が急減—MENA(中東・北アフリカ)の対日貿易(2015年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その10)

目次	頁
1. 総論:2015年の日本の貿易額	
(1)全世界、MENA、GCC との輸出入および貿易バランス	2
(2)GCC, MENA、中国および米国との輸出入	2
2. MENAと日本の2015年の輸出入	
(1)日本の輸入	3
(2)日本からの輸出	3
(3)輸出入バランス	4
3. 2011年～2015年の日本と MENA 諸国の貿易	
(1)日本と MENA 諸国の貿易額及び対中国、対米貿易との比較	5
(2)日本/MENA 間の輸出と輸入	5
(3)主な国の輸入額の推移	6
(4)主な国の輸出額の推移	7

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 カ国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全

てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第10回のランキングは、財務省ホームページの貿易統計により2015年の各国と日本の輸出入を比較しました。

* 財務省ホームページ: <http://www.customs.go.jp/toukei/info/tsdl.htm>

1. 総論:2015年の日本の貿易額

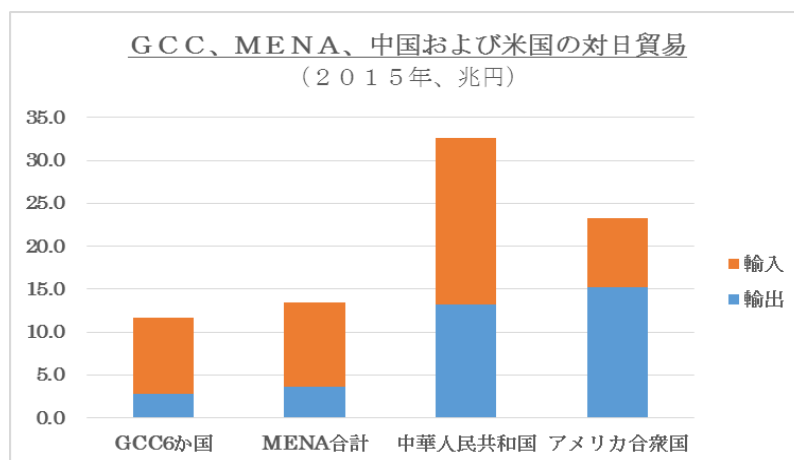
(大幅に改善された貿易バランス)

(1)全世界、MENA、GCC との輸出入および貿易バランス(末尾表 10-T01 参照)

2015年の日本の輸出額は76兆円、輸入は78兆円で輸出入合計(以下貿易)額は154兆円に達した。輸出入のバランスは3兆円の貿易赤字となっている。前年の貿易赤字は13兆円であり、貿易収支は大幅に改善されている。

MENAと日本の貿易額は輸出3.7兆円、輸入9.8兆円で差し引き6.2兆円の大幅赤字である。日本の輸出全体に占めるMENA向け輸出は5%弱であるのに対し、輸入は全体の13%を占めている。日本とMENAの貿易は日本の大幅な輸入超過であり、MENAの貿易赤字額は日本全体の赤字幅の2倍強である。これは言うまでもなく日本がMENA地域から大量の石油及びガスを輸入していることにある。特にMENAの主要貿易相手国であるGCCは輸出2.8兆円に対して輸入は8.9兆円、貿易赤字が6.1兆円となっており、MENA20カ国の貿易赤字はそのままGCC6カ国の貿易赤字ということになる。

(2)GCC, MENA、中国および米国との輸出入



MENA及びGCCの貿易額を中国及び米国と比較すると、中国の貿易額は33兆円、米国は23兆円である。MENAの貿易額13兆円は米国の6割、中国の4割である。しかしその内訳をみるとMENAは輸入と輸出の比率が10対4であり貿易バランスは6.2兆円の赤字である。中国も貿易赤字はGCCと

同額の6.2兆円であるが、輸入と輸出の比率は10対7であり、輸出入のバランスはMENAのほうがはるかに悪い。米国の場合は輸出15.2兆円、輸入8.1兆円であり、MENAあるいは中国とは

逆に7.2兆円の貿易黒字である。

2. MENAと日本の2015年の輸出入

(対前年比金額ベースで4割減！)

(1)日本の輸入(末尾 10-T02 参照)

2015年の MENA 諸国からの輸入総額は9.8兆円であり日本の輸入総額の13%であった。MENA 地域からの輸入はほとんどが石油或いは天然ガス(LNG)であり、サウジアラビア、UAE、カタール、クウェイト、オマーンの GCC5カ国及びイランが輸入相手国の上位を独占しており、これら6カ国だけで MENA 全体の輸入額の92%に達している。

国別ではサウジアラビアからの輸入額が3兆円でトップであり、第2位は UAE(2.8兆円)である。第3位はカタールの2兆円で、の3か国が輸入額1兆円以上の国である。第4位はクウェイト(7,800億円)、第5位イラン(3,900億円)であるが、上位5か国の対前年増減率はサウジアラビア40%減、UAE35%減、カタール44%減、クウェイト41%減、イラン40%減といずれも40%前後の大幅な減少である。これは原油価格が大幅に下落し、天然ガス(LNG)もこれに連動したため金額ベースの輸入額が大幅に減少したためである。

6位のイスラエルからの輸入額は前年と殆ど変化が無い。これに次ぐ第7位から9位までのオマーン、イラクおよびアルジェリア3か国からの輸入が大きく落ち込んでいるのはこれらの国々からの輸入が石油あるいは天然ガスのエネルギーだからである。

非産油国のトルコ、エジプト両国からの輸入額はそれぞれ760億円、180億円であるが、前年比ではトルコがほぼ横ばいであったのに対してエジプトは42%減である。エジプトの政情不安が影響していると考えられる。なお金額は小さいもののモロッコからの輸入が前年に比べ8倍以上に増加しているのは注目される。

ちなみに中国からの輸入は19兆円に達し MENA 全体の2倍に達する。また米国からの輸入は8兆円であり MENA トップのサウジアラビアの2.7倍である。対前年比では中国は1%の微増、米国は7%増となっている。

(小国 UAE が最大の輸出相手国。理由はドバイから周辺諸国への再輸出！)

(2)日本からの輸出(末尾表 10-T03 参照)

2015年の日本の輸出総額は76兆円であったが、そのうち MENA 諸国への輸出は3.7兆円であり全体に占める割合は4.8%である。輸入に占める割合が12.5%であることに比べかなり低い。日本と MENA の貿易は日本の大幅な輸入超過という片貿易である。

国別にみると MENA で日本の輸出が最も多いのは UAE の1兆500億円であり、これに次ぐのがサウジアラビアの8,260億円である。UAE の人口は外国人を含め940万人であり、サウジアラビア(2,940万人)の3分の1以下であるにもかかわらず、輸出額では両国が逆転している。UAE は

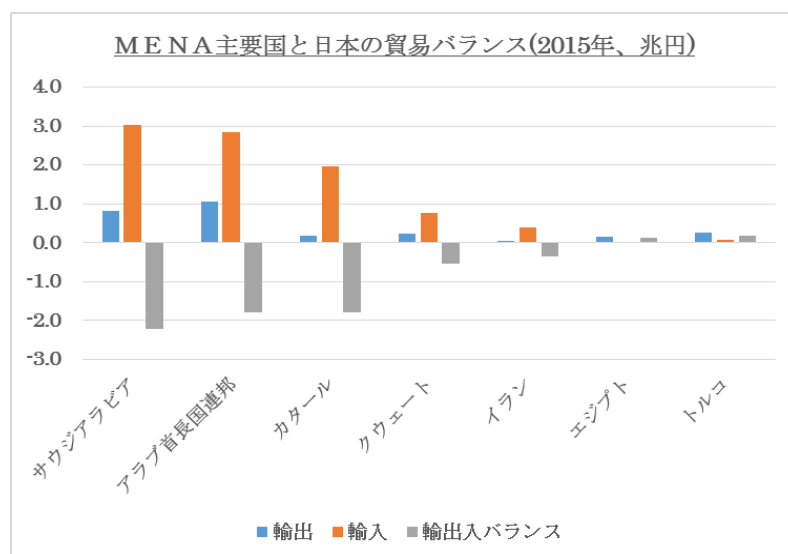
ドバイの自由貿易港を通じた GCC、東アフリカ、中央アジア等の国々への再輸出が多いためである。

UAE、サウジアラビアに次ぐ日本からの輸出第3位はオマーンであるが、その輸出額は3,900億円であり両国と大きな開きがある。4位以下はトルコ(2,620億円)、クウェイト(2,260億円)、カタール(1,870億円)、エジプト(1,550億円)、イスラエル(1,410億円)、バハレーン(1,070億円)と続き10位のヨルダン以下は輸出額1,000億円未満である。ちなみに中国向け輸出は13兆円、米国向け輸出は15兆円で全世界向け輸出に占める割合はそれぞれ18%および20%であり、MENA 諸国向け輸出額の4~5倍である。

昨年の輸出額と比較すると日本全体では3.4%増であり、MENA 地域向けも5.9%と世界平均を上回る伸びである。輸出額1,2位の UAE 及びサウジアラビアの増加率はそれぞれ4.2%および2.6%であった。増加率が高かったのはモロッコ(+64%)レバノン(+48%)、ヨルダン(+35%)の各国である。一方輸出額が前年に比べて大きく落ち込んだのはリビア、イエメン(共に71%減)及びアルジェリア(26%減)の3か国であった。

(石油・LNG の輸入で日本の輸入超過6兆円！)

(3)輸出入バランス(末尾表 10-T01 参照)



MENA 全体の輸出入の差額、貿易バランスは6.2兆円の大幅な日本の輸入超過である。これは言うまでもなく石油或いは天然ガスの輸入によるものであり、特にサウジアラビア(-2.2兆円)、UAE およびカタール(各-1.8兆円)、クウェイト(-0.550兆円)並びにイラン(-3.600兆円)の産油(ガス)5カ国に対する輸入超過額が大きい。5カ国の輸入超過合計額(6.7兆円)

だけで MENA 全体に匹敵する金額である。但し日本の MENA との輸入超過額は昨年の12.6兆円から大幅に改善している。これは原油・天然ガスの価格がこの間に大幅に下がり金額ベースの輸入額が大幅に下がったためである。

一方日本の輸出超過となっている国はトルコ、エジプトなど8カ国1機関である。いずれも超過額は輸入に比べて少ないが、比較的金額が大きいのはオマーン(2,070億円)、トルコ(1,860億円)、エジプト(1,370億円)などである。

因みに中国は6.2兆円の輸入超過でほぼ MENA 全体と同じであり、米国は逆に7.2兆円の

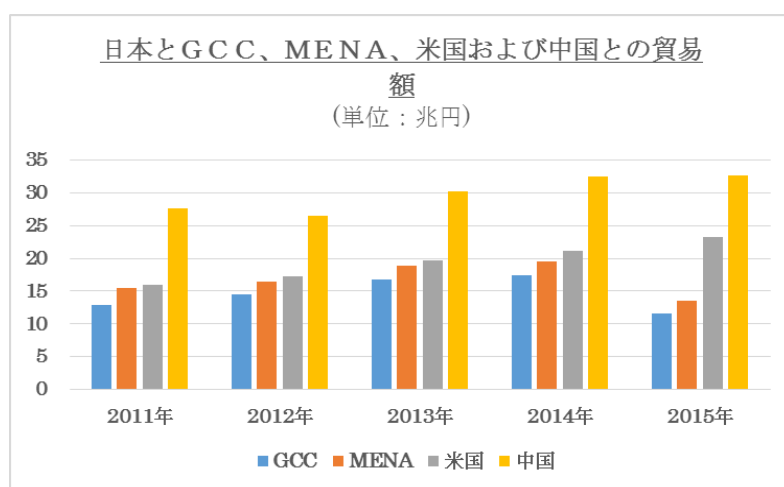
幅な輸出超過となっている。

輸出入バランスを2014年と比較すると、全体では2014年の12.8兆円の輸入超過から2015年には2.8兆円と大幅に改善している。日本と MENA 諸国の貿易バランスも2014年の-12.7兆円が2015年には-6.2兆円に半減している。石油・天然ガスの価格の急落、為替が円安傾向になっておりエネルギーの主要供給先であるサウジ、UAE などがドル固定相場制であることなどの各種要因が重なった結果、MENA 諸国の貿易バランスが大きく改善されたものと言えよう。

3. 2011年～2015年の日本と MENA 諸国の貿易

(5年間で初めて減ったMENA の貿易額！)

(1)日本と MENA 諸国の貿易額及び対中国、対米貿易との比較

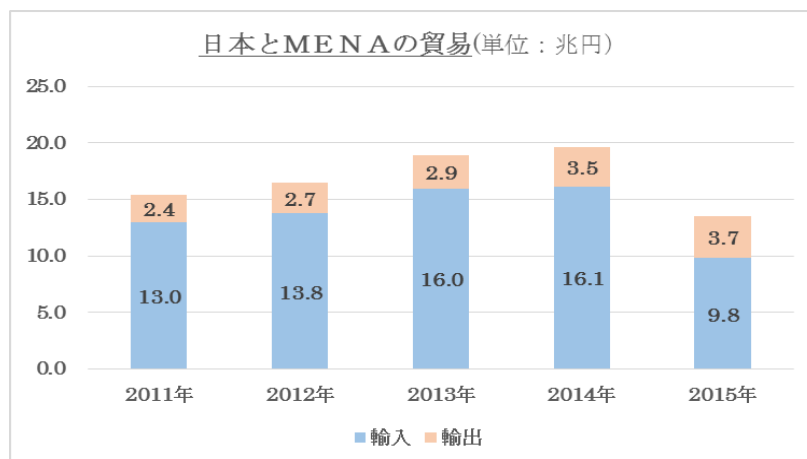


2011年から2015年までの5年間の日本と MENA19カ国1機関(パレスチナ自治政府)との貿易総額(輸出と輸入の合計額)は、2011年15兆円、2012年16兆円、2013年19兆円、2014年20兆円と毎年増加し続けたが2015年は一転して減少に転じ同年の貿易総額は13兆円と過去5年間で最も少ない。また日本の貿易総額に占める割合

は2011年から2014年までは12%前後であったが、2015年は8.8%の一けた台に落ち込んでいる。米国及び中国と比較すると、MENA の貿易額は2014年まではほぼ米国に肩を並べていたが、2015年は MENA が減少した反面米国は大きく伸び、中国も微増であった。このため MENA と両国の貿易格差は拡大し、2015年は MENA は米国の2分の1、中国の3分の1にとどまっている。

(日本の対 MENA 貿易は5年連続で赤字！)

(2)日本/MENA 間の輸出と輸入



MENA の貿易額を輸入と輸出に分けて見ると、日本の MENA からの輸入額は2011年の13兆円から2014年には16兆円まで膨れたが、2015年には一転して過去最低レベルの10兆円であった。一方日本からの輸出額は2.4兆円(2011年)→2.7兆円(2012年)→2.9兆円(2013年)

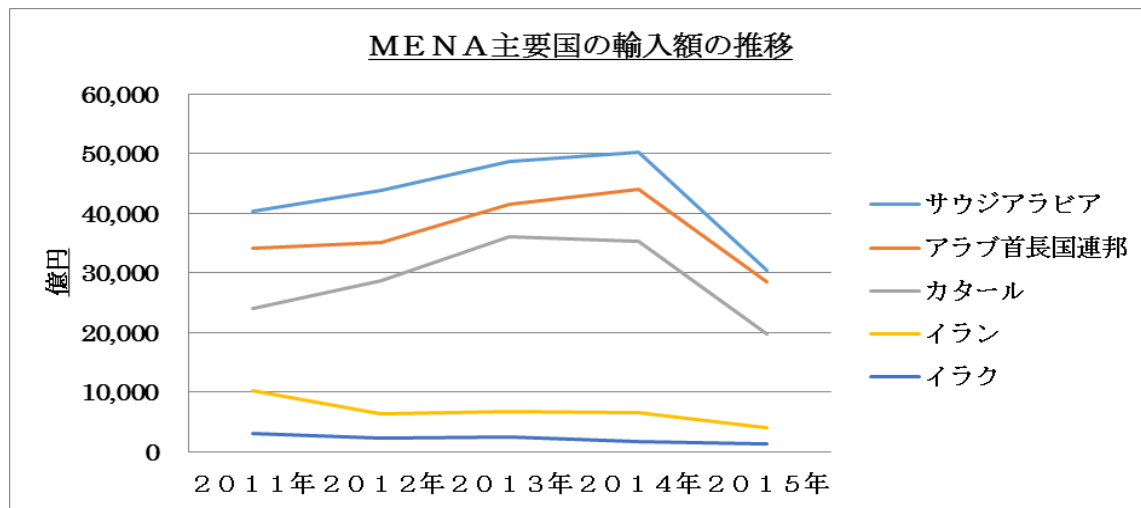
→3. 5兆円→3. 7兆円と5年間を通じて増加傾向が続いている。

2011年の福島原発事故以後 LNG の輸入が急増し、油価の高騰と相まってサウジアラビア、カタールなどからの輸入額が急増した。しかし2014年年央以降は油価が急落、さらに円安の影響もあって円建て輸入額は急減した。これに対して MENA 産油国は2015年までオイル・ガスブームが続いており自動車・プラントなど日本からの輸出が増加している。

この結果、日本の MENA 諸国に対する貿易収支は2014年まで年間10兆円以上の赤字であったが、2015年は赤字幅が6兆円に縮小している。

(サウジ、UAE、カタールからの輸入は急減、過去5年間で最低水準！)

(3)主な国の輸入額の推移



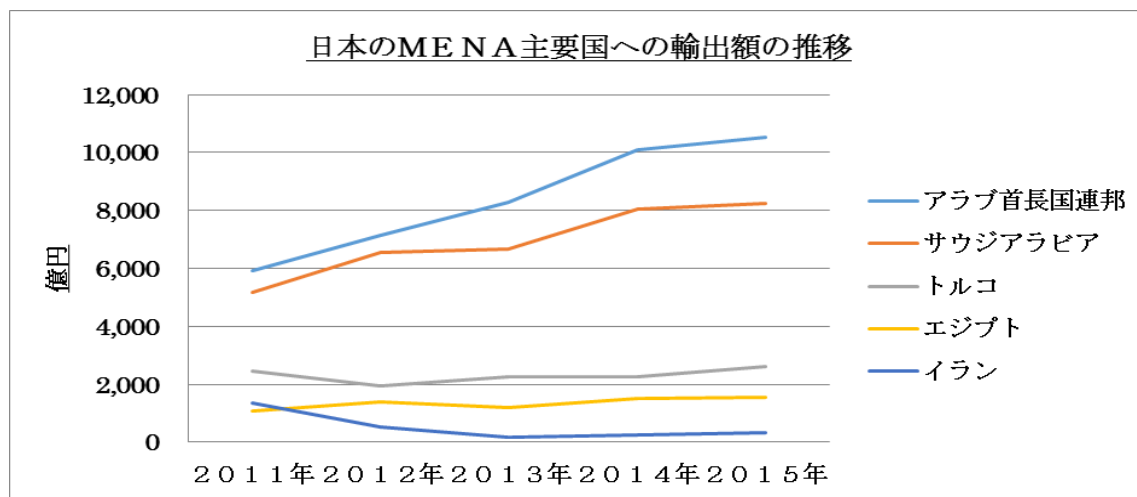
サウジアラビア、UAE、カタール、イランおよびイラクは石油・天然ガスの主要な輸入国であるが、これら5カ国の過去5年間の国別輸入額の推移を見ると、5年間を通じてサウジアラビアの輸入額が最も多く、その額は2011年の4兆円から2014年には25%増の5兆円に急増した。2015年は前年比4割減で過去5年間では最低の3兆円にとどまり、UAE が2. 8兆円とサウジアラビアに迫っているが、MENA 首位の座は変わらない。カタールからの輸入額はサウジ、UAE より少ないものの、2011年の2. 4兆円から2. 9兆円(2012年)→3. 6兆円(2013年)と急激に増加した。しかし2014年には前年比2%減の3. 5兆円に減少、さらに昨年は2兆円に急減している。カタールからの輸入減は LNG 価格の下落、同国以外の輸入ソースの多様化等の影響と言えよう。これら3カ国が MENA の全輸入額に占める割合は2011年に76%であったが、2015年には80%に達しており、エネルギー価格が下落する中でも MENA における湾岸産油国のシェアがむしろ上がっていることは注目される。

これら3カ国に対してイラクからの輸入額は3, 000億円以下で低迷し、特に2013年以降は3年連続で減少、2015年の輸入額は1, 200億円と2011年の4割にとどまっている。イランについては2011年は1兆円強であったが2012年には6, 400億円に急落、その後2014年まで6千億円台を続けた後、2015年には3, 900億円に急減している。経済制裁による輸入抑制と原油価格下

落の影響が大きく表れている。

(好調な輸出に陰りがみえるサウジアラビア、UAE、底が見え始めたイラン向け輸出！)

(4)主な国の輸出額の推移



MENAの日本からの輸出額では過去5年間を通じてUAEがトップである。これはドバイを通じた第三国への再輸出が多いからである。UAE向けの2011年の輸出は5,900億ドルであったが、その後はオイルブームにより2012年以降同国向けの輸出は4年連続で増加、2014年、15年は1兆円の大台を超えている。

オイルブームは同じ湾岸産油国のサウジアラビアにも表れており、同国向け輸出は2011年の5,200億円から2015年には1.6倍の8,300億円に増加している。その一方、同じ産油国であるがイラン向け輸出は対イラン経済制裁により2011年の1,361億円から大幅に減少、2013年の輸出は164億円にとどまった。その後は回復の兆しが見え、2015年には348億円で5年前の4分の1の水準まで回復している。

地域の経済大国であるトルコ向け輸出は2012年以降毎年増加しており、2015年は2,616億円と5年前の2011年を上回っている。またもう一つの地域大国エジプトは過去5年間を通じて大きな変化は見られないが、2011年の1,070億円から2015年には1,554億円に増加している。「アラブの春」の影響が薄くなりつつあると考えられる。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行

〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601

Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642

E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

MENA 諸国の対日貿易(2015年)

単位:億円

国名	輸出	輸入	輸出入バ ランス	輸出+輸入
アルジェリア	300	1,122	-822	1,422
バーレーン	1,073	391	682	1,465
エジプト	1,554	181	1,373	1,735
イラン	348	3,934	-3,586	4,282
イラク	610	1,207	-597	1,816
イスラエル	1,415	1,826	-411	3,240
ヨルダン	700	37	663	737
クウェート	2,257	7,759	-5,502	10,016
レバノン	569	19	550	588
モロッコ	74	6	68	79
リビア	314	317	-3	631
オマーン	3,897	1,823	2,073	5,720
パレスチナ自治政府	2	1	1	3
カタール	1,871	19,737	-17,866	21,607
サウジアラビア	8,260	30,353	-22,093	38,613
シリア	11	1	10	12
チュニジア	98	149	-51	247
トルコ	2,616	758	1,858	3,374
アラブ首長国連邦	10,521	28,462	-17,941	38,984
イエメン	137	163	-26	301
MENA 合計	36,626	98,246	-61,620	134,872
(GCC 小計)	27,879	88,526	-60,647	116,405
中華人民共和国	132,234	194,288	-62,055	326,522
アメリカ合衆国	152,246	80,598	71,648	232,844
全世界	756,139	784,055	-27,916	1,540,195

MENA 諸国から日本への輸入額

単位: 百万円

	2014年	2015年	増減	構成比	対前年増減
サウジアラビア	5,015,279	3,035,273	-1,980,007	30.9%	-39.5%
アラブ首長国連邦	4,399,772	2,846,244	-1,553,529	29.0%	-35.3%
カタール	3,537,500	1,973,694	-1,563,806	20.1%	-44.2%
クウェート	1,304,835	775,939	-528,896	7.9%	-40.5%
イラン	653,398	393,410	-259,988	4.0%	-39.8%
イスラエル	182,827	182,572	-255	1.9%	-0.1%
オマーン	411,944	182,325	-229,619	1.9%	-55.7%
イラク	163,153	120,656	-42,497	1.2%	-26.0%
アルジェリア	169,375	112,229	-57,146	1.1%	-33.7%
トルコ	70,164	75,771	5,607	0.8%	8.0%
バーレーン	58,933	39,135	-19,798	0.4%	-33.6%
モロッコ	3,847	31,678	27,831	0.3%	723.4%
エジプト	31,011	18,117	-12,893	0.2%	-41.6%
イエメン	89,152	16,327	-72,825	0.2%	-81.7%
チュニジア	15,769	14,882	-887	0.2%	-5.6%
ヨルダン	5,675	3,675	-2,000	0.0%	-35.2%
レバノン	3,311	1,926	-1,385	0.0%	-41.8%
リビア	25,739	562	-25,177	0.0%	-97.8%
シリア	140	95	-44	0.0%	-31.7%
パレスチナ自治政府	44	65	21	0.0%	48.7%
MENA 合計	16,141,868	9,824,576	-6,317,292	100.0%	-39.1%
(GCC 小計)	14,444,061	3,029,882	-11,414,180	30.8%	-79.0%
中華人民共和国	19,176,450	19,428,812	252,361		1.3%
アメリカ合衆国	7,542,679	8,059,781	517,102		6.9%
全世界	85,909,113	78,405,536	-7,503,577		-8.7%

日本から MENA 諸国への輸出額

単位:百万円

	2014年	2015年	増減	%
アラブ首長国連邦	1,009,580	1,052,107	42,528	4.2%
サウジアラビア	804,930	825,999	21,069	2.6%
オマーン	373,730	389,673	15,943	4.3%
トルコ	224,923	261,583	36,660	16.3%
クウェート	201,390	225,709	24,320	12.1%
カタール	164,264	187,054	22,790	13.9%
エジプト	150,822	155,416	4,594	3.0%
イスラエル	117,032	141,472	24,440	20.9%
バーレーン	90,627	107,329	16,703	18.4%
ヨルダン	51,908	69,984	18,076	34.8%
イラク	61,291	60,964	-327	-0.5%
レバノン	38,578	56,909	18,331	47.5%
イラン	26,582	34,774	8,192	30.8%
モロッコ	19,146	31,375	12,229	63.9%
アルジェリア	40,785	29,999	-10,786	-26.4%
イエメン	46,352	13,745	-32,608	-70.3%
チュニジア	9,812	9,819	8	0.1%
リビア	24,947	7,367	-17,580	-70.5%
シリア	1,079	1,116	37	3.4%
パレスチナ自治政府	185	187	2	1.1%
MENA 合計	3,457,962	3,662,583	204,621	5.9%
(GCC 小計)	2,644,520	2,787,872	143,352	5.4%
中華人民共和国	13,381,487	13,223,350	-158,137	-1.2%
アメリカ合衆国	13,649,257	15,224,592	1,575,335	11.5%
全世界	73,093,028	75,613,929	2,520,901	3.4%

ⁱ MENA ランクシリーズ 2 「MENA 諸国の人口・出生率・平均寿命(世界人口白書 2014 年版)」
参照。 <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/0340MenaRank2.pdf>